

令和3年3月4日

学生の皆さんへ

常葉大学学長 江藤 秀一
短期大学部学長 木宮 健二

令和3年度の授業方針について

令和2年度は新型コロナウイルスの様々な影響を受けた年度でしたが、学生の皆さんの感染防止対策の積極的なご協力と取り組みのお陰を持ちまして、授業や行事をほぼ予定どおりに終了することができました。改めまして、感謝いたします。

令和2年度当初は、このウイルスに関して未知のことが多く、入学式も取りやめ、授業も6月8日まではポータル等を用いた遠隔授業を行いました。全学一斉の遠隔授業は、本学にとって初めての試みでしたので、果たして滞りなく実施できるか、はなはだ不安でしたが、教職員および皆さんの積極的な取り組みが功を奏しまして、様々な問題を抱えながらも中断することなく授業を実施することができました。遠隔授業に関してはそのメリットとデメリットもわかり、新たな教育方法の可能性も示唆されておりますが、本学の前期アンケート結果から、皆さんの多くが遠隔授業の利点を認めながらも、やはり対面が望ましいと思っていることもわかりました。

確かに私たちは遠隔で講義も演習も実施できることはわかりましたが、大学は知識や技術の習得だけではなく、学生同士あるいは学生と教職員とが共に語り合い、切磋琢磨し、豊かな人間性と社会性を修得していく場でもあります。キャンパス内でクラスやサークルの仲間とともにおしゃべりをしたり、練習に励んだりしながら、自己を理解し、他者との関係を築き、社会人としてのふるまい方を身につけていく重要な場です。従いまして、本学は可能なかぎり、皆さんにそのような人と人の触れ合う機会を設けていきたいと考えております。

そのような考えのもと、令和3年度の授業は、令和2年度後期同様に、「学生・教職員の健康と命を守り、学内外への感染拡大抑止を最優先する」という本学の新型コロナウイルス感染症対策の基本方針を守りつつ、感染症対策に万全を期し、対面授業を中心に実施していきたいと考えております。

併せまして、遠隔授業の効果が認められた科目については遠隔授業も取り入れ、皆さんにインターネットによる諸活動の日常化を実践していただきたいと願っております。これからの時代はオンライン営業やテレワークといったインターネットを使った仕事も当たり前になっていくことと思われまます。遠隔による授業を通して、ネット上での人間関係の築き方や円滑なコミュニケーションの進め方などを体得していただき、卒業後のキャリアに活かしていただければと思います。

対面授業を中心に行うとはいえ、感染防止を最優先としますので、まだまだ不自由な生活をお願いすることになりますし、学期途中の方針転換の可能性もあります。どのような状況になろうとも、皆さんと力を合わせながら、授業やサークル活動などを中断することなく実施できるよう教職員一同努めていきます。皆さん方にも引き続き手洗いやマスクの着用、そして3密回避など、感染防止に万全の対策をお願いいたします。

最後になりますが、困ったことや悩み事などがありましたら、指導教員をはじめ、学生課や学生支援センターなどへ遠慮なくご相談ください。

では、皆さんとキャンパスでお会いできますこと、教職員一同楽しみにしております。